

平成27年度第1回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時 平成27年(2015年)8月20日 14時30分～16時30分

2 開催場所 広島市役所北庁舎別館 4階会議室

3 出席者

(1)出席委員(6名)

岡河 貢、伏見 清香、岩重 律子、柏尾 浩一郎、清田 誠良、
西村 不可止

(2)欠席委員(2名)

鰐澤 達夫、藤井 堅(臨時委員)

4 議 題 (1) 新しいタイプの高等学校整備について

(2) 平和記念公園ほか1箇所バス停上屋整備事業

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 一般傍聴者 0名

傍聴者(マスコミ関係) 1名

7 会議資料

会議次第、委員名簿、広島市出席者名簿、配席表

議事資料1 新しいタイプの高等学校整備について

議事資料2 平和記念公園ほか1箇所バス停上屋整備事業

8 発言の要旨

○岡河座長 開会発言

○長光都市計画担当部長 挨拶

○萬ヶ原都市デザイン担当課長 出席者紹介、配布資料確認、議事案件概略説明

○岡河座長

議事1の新しいタイプの高等学校整備について、第1回目であるが、担当の方に御説明をお願いする。

○橋本営繕課課長補佐

(議事1「新しいタイプの高等学校整備について」1回目の説明)

○岡河座長

各委員の皆様からの御意見、御質問はあるか。

○岩重委員

10社ほどのプロポーザルで決定されたということであるが、こういうことを目指しているというところを伺いたいのと、開放された学校ということであるが、セキュリティーの問題等をどういうふうに考えておられるのかということ伺いたい。

○橋本宮繕課課長補佐

プロポーザルで決定した時の、決定に大きく影響したところに関しては、まず、元安川に向かって開放されたステップテラス、それと中に入っているステップラウンジについて、使われる生徒さんにはいろいろな事情があり、その人たちがいるスペースが、当初言っていた単位制の学校ということで、授業がずっとある訳ではなく、空いている時間があり、大学みたいな形式になっているので、授業と授業の間で時間がある。そういうスペース、居場所を提案されている。個人から集団でいろいろと居られるスペースを提案されていたということが、大きな理由になって選ばれた。

また、開放とセキュリティーについては、入り口としては3カ所あるが、正門と南側の通用門、プロムナード、あと、西側に階段状で降りてこられる形のもの、ステップテラスである。このステップテラスや西側については、通常は施錠して一般の人は入ってこられない。開放というのは、あくまでも行事等の時に開放するということで、日常は閉めていることになると考えている。以上がセキュリティー的な機能である。

○岩重委員

コミュニケーションコリドーと屋内運動場棟、それらをイベントのときに一緒に使われるだろうが、校舎棟のほうも一緒に開放されるときセキュリティーの問題を考えて設計していただきたいと感じた。

○伏見委員

私もセキュリティーと開放の問題が一番気になった。テラスのオープンは、教室になっているように見えるが、テラスの西側なので、テラスの熱が校舎の中に入って、大変暑いのではないかと思う。その辺はどのようにお考えなのか。

また、コミュニケーションコリドーの上は、ガラスか何か張られているかどうかということと掃除はどのように考えているのか。メインのエントランス、入り口の部分の開放について、セキュリティーとも関係あるが、どの程度まで通常開けておくのか、門やフェンスが夜になると完全に閉まってしまうのか、それとも公園のように開いたままになるのか。

○橋本宮繕課課長補佐

まず、西側の諸室であるが、1階部分はテラスが出ていて日陰になっている。2階部分は、テラスの奥が食堂となっており、使用されるときには冷房をかけるが、使用されないときは開放して、窓を開けて先ほどのステップラウンジを抜けて、空気が流入する形にしている。3階部分については、その先がステップラウンジになっており、教室等は配置していない。4階も同じようにステップラウンジという形で、たまり場的なところで、西日を浴びながら授業をするという配置計画にはしていない。

コミュニケーションコリドールの屋根はガラスを考えている。軽いガラスということで、考えているが、先ほどの掃除等のメンテということでは、常時は雨等が流れると思うが、その辺については、考えてなかったというところはある。どうしても汚れて磨かなければならないということになれば、高所作業車で1年に何回とか2年に1回程度、掃除するという形になると思う。

門とかの閉鎖については、一応、朝何時か分からないが、通常9時ぐらいから夜の10時ぐらいまでが学校の開放時間なので、その間、正門は開けておく形になる。ただ、誰もいなくなる夜11時以降から朝までは、閉鎖した形になる。

○柏尾委員

予算がオーバーしているということだが、どれぐらいの予算をオーバーしているのか。莫大に予算が全然違うものに対して、デザインを語ることは、意味がなくなってきてしまう。予算オーバーしている部分のデザインをどう変えていくのか、または、その予算がしっかり付くものなのかを伺いたい。

○橋本宮繕課課長補佐

今、教育委員会で考慮しているが、市だけならある程度方向性が直ぐ付けられるが、県との折半で予算計上しているので、県の方が上げなければ、市の方もなぜ上げるのかという話になってくる。

今は縮小というか、スパンを短くして、面積を少し小さくするといったことも含めて協議しているので、今、出しているパースだが、この段階でも幾らか引き締めている。当初、この位は欲しいという計画を立てて概算したものから10%ぐらい超えていたので、今、それが6%になっていると思うが、それもどういったものを入れていくか入れないか、事業費の中にも含めるか含めないかである。その辺もやっているのですが、どうなっていくのか分からない状態になっている。全体的な形はそのまま残していき、スパンを短くして面積を

小さくしようというのは、計画されている。

プロポーザルの形で募集しているので、配置や色が細かく変わったというのはあるが、できる限りそれには近づけていきたいと考えている。ただ、まだその辺を検討しているので、今言える状態ではない。

○柏尾委員

分かった。先ほど、コリドーの天井の話聞いたが、第2コスト、第2費用が上がっていくものについては落としていくべきで、ちゃんと検討してほしい。

○橋本営繕課課長補佐

先ほど言った落とす整備の中に屋根が上がっているが、象徴したいという思いがあるので、残したいという気持ちも持っている。

○柏尾委員

仮に費用が明らかにかかるというのなら、落とした方がよいと思う。

○清田委員

エネルギー使用計画をどういうふうを考えられるかが一番分からない。あくまでも最初のプランということで、空調に関わる場所も分からないし、エネルギー計画も分からないが、一番気になるのは、これが正方形に近い状態の平面計画を持っており、2ページの校舎棟と書いてあるところが、片一方に変形があって、非常に何か照明にお金がかかりそうな雰囲気がある。

もう一つ気になるのは、3ページの断面イメージのところのステップラウンジで、あたかも下から入った空気が上に吹き抜けていくかのごとく見えるが、このイメージはとっても大事であるが、風のない日は、元安川に対して平行に吹いてくるのが想定されるので、西から入って東に抜けるような風は考えられないので、多分、配置を少し考えて計画を立てないと、ステップラウンジがあれば空気が抜けるというのは、弱いような気がする。

エネルギーに関してもお金のかかる話だが、ここまで西側を潰すのであれば、西側の壁に太陽光パネル設置というふうには、逆に思うし、屋上をこれだけ持っているのであれば、太陽光パネルの設置で、ランニングとイニシャルの問題になってくるが、イニシャルのコストを学校で出すという話だと思うが、ランニングのことも考えないと、とんでもないことが発生する。通常の学校よりも稼働時間が長い、今9時から11時ということもあるので、冬になれば暖房代が必要になるし、広島の間夜の状況からすれば、11時過ぎまで風が吹かない、風の状態になるので、冷房についても、フル稼働させる状態が、建物全体を

使っていれば全体空調の話になるので、ぜひランニングも含めて考えてほしい。

○橋本営繕課課長補佐

分かった。今、冷暖房については、生徒の教室には、付けていきたいというところはあるが、県と市で意見が分かれており、誰が設置するかでまだ考慮しているところである。

○清田委員

そこが多分一番お金がかかる話で、工事が終わった後に後付けで空調設置となると、ビルマル型工事にすると、せっかくデザイン審議をしているのに、壁に配管が通ることが起こるので、是非、デザインの的にも空調、エネルギー需要に関わることについては、御検討いただきたい。

○橋本営繕課課長補佐

その方向で進めているが、その点についても県との調整が必要で、空調、設備担当を含めて、気を付けて考えていきたい。

○岡河座長

その学校は全館冷暖房完備か。

○橋本営繕課課長補佐

共用部については、今は冷暖房を考えていない。ただ、風が絶対的に吹かない、通らないところについては、冷暖房ではなくて冷房が付くように考えている。

○岡河座長

予算の関係で少し流動的だが、どこがするかということも含めて、だんだんはっきりしてくるのか。

○橋本営繕課課長補佐

誰が負担するかなどをクリアしていかないといけないと思う。

○岡河座長

これだけ屋上があるので是非、清田先生にも、また報告していただけたらと思う。

○清田委員

とにかくパッシブで、お金のかからない、ランニングのかからない仕掛けをするのが、一番いいのかなと思う。緑を上手に使っていくやり方もある。緑を多くすることなどを連結して考えられるようにすれば、かなり違う可能性はあると思う。

○橋本営繕課課長補佐

とにかく、可能性をたくさん出していただいている。

○岡河座長

その辺は頑張りどころかなという気がする。

○西村委員

コミュニケーションコリドーの上がガラスということについて、開放的で大変いいと思う。広島は大きな地震はないと思うが、地震があった場合、このように高いところで2つをつなげると、それぞれの揺れが違うので、これが落下する可能性が相当あるのではないかと思う。この2つの建物の屋根の上にあるコミュニケーションコリドーの耐震ということも、もう一遍考えてみたらと思う。冷房については、最初から屋上緑化という考えはなかったのか。

○橋本営繕課課長補佐

屋上緑化については、施設管理者からメンテナンス等について、すごく大変なので止めてくれと言われている。太陽光等もあったが、電力需要等対応のための太陽光は付けないという方針である。

○岡河座長

この学校は大学みたいに授業と授業の間があるということだったが、具体的にはその間に、生徒が居る場所というのはどういうところか。

○橋本営繕課課長補佐

お配りしている図面でいくと、3ページのところに、右側、教室の小と書いてあるが、そのくらいの小スペースをあちらこちらに設けている。また、ステップラウンジという形で内部の吹き抜けの部分の周囲にラウンジが設けられている。

小さなスペースで1人か2人でいられるようなところというのは、廊下の端々に設けている。大きなスペースとしては、食事時間以外であれば食堂やテラスなど、いろんな場所で過ごすというように計画している。

食堂が食事の時間という形ではなく、11時ごろから空いている生徒もいるということで、昼食時間中、まだ運営は分からないが、11時から1時半とか、2時とかの間は、食堂として使う。それ以外は休憩室スペースとして使う形になると思う。夜間も食事を出すということもあり、その時間帯は確保されるが、それ以外の部分は開放するという形で運営したいと聞いている。

○岡河座長

予算について、今、10%から5%ぐらいの方向ということで、具体的には、どの点で

予算の調整をする可能性があるのか、検討箇所でも、どういうところで可能性があるかということについてお伺いしたい。

○橋本営繕課課長補佐

今の屋内運動場、1階部分の半分は武道場が入っているが、半分は駐輪場としている。300台の自転車置き場になっているが、その部分に、外部に必要なトイレとか部室とかを入れ込んで、外部の附属建物をなくすとか、この情景に書いてある校舎の前の、今、ネットを張っているが、フェンスについても、軟式野球で学校が使っているようなので、強化ガラスを採用するなど、フェンスをなくしていこうということを考えている。

もう一つ、スパンを1メートルなり、2メートル抑えて、全体面積を減らしている。予算規模が大きな中で、PCを使っているというのが大きな原因になっていることについても、工期が17カ月というところで、その中でおさめようとする则在来工法でいくと、17カ月で納まらないというところがあり、PC等を使用しないと間に合わないというのがある。デザイン的なところというのは、余り飾ってないので、そんなに落とすことはできないが。

もう一つは、1階階高について、現在、屋内運動場と2階レベルを同じにするということで、ちょっと高くしているが、校舎棟に関しては、2階部分ではレベルが下がっているということで、若干抑えている。それでもまだ追いつかない。教室棟では、サイズに関しては、下げてもらっては困るというところも出てきているので。先ほどのコリドーの屋根をなくそうかということで、検討を進めている。

○岡河座長

先ほどのコリドーについては、少し規模を縮小して、ガラスのような豪華でメンテも心配があるものではない方向もあるのではないかという気がする。恐らく一番大きいのは、スパンの調整がどれぐらいになるかで、仕様のには、現況どれぐらいのスパンか。

○橋本営繕課課長補佐

標準で8.5メートル。縦4メートルである。

○岡河座長

プレキャストだと、8.4メートルというのは少し大きいと思う。

○設計業務受託者

プレキャストでも大丈夫である。教室の大きさで、間口方向はどうしても8.4メートル必要になってくるが、要は幅である。10センチぐらいずつ縮めても、建物の長さが8

0メートルぐらいあれば、1メートルぐらい縮小することができるのではないかとということで、スパンの調整をしている。ただ、教室の大きさだけは変えない。

○岡河座長

10センチとか15センチとかの微妙な寸法の調整か。

○設計業務受託者

それを集めてくることで、1本でも柱が、1列でも柱が減れば、その下の杭も減ることになるので、こういうことを、今、調整させていただいている。

○清田委員

西側のルーバーの仕様について、どう見ても西側の陽を当てたパースではないと思う。真上から当たっている状態になっている。多分、太陽高度が真西の状態になって、太陽高度が20度ぐらいの頃、夕方4時から5時ぐらいを想定すると、多分、2階部分と3階部分もかなり深いところまで日射が入ってくる状況があると思う。3スパンあり、結構な負荷が入ってくる気がするので、多分、日照に関する検討は、空調を入れない方向でいかれるのであれば、少し慎重に計画をしていただいたほうがよい。

屋上緑化については、高反射塗料を塗ってしまえば非常に効果が高くなってくるので、屋上の断熱をとらなくてもかなり効果があると思う。

○岡河座長

西側のテラスについて、リバーフロントで特徴を作られていて、ここをどれだけ頑張って作っていくかである。西側の1階から2階に大きい階段があるが、避難その他の関係か。

○橋本営繕課課長補佐

学校を開放したとき等に、西側からも学校の中に入って来れるようにということで設置している。通常は閉めたままである。

○岡河座長

1階と2階がなくなっても、2階と3階、3階と4階が2つぐらいずつの階段で、結んだと、西側がかなり格好いいかなというイメージがある。予算の問題が、幾つかクリアしなければいけないことがあるかと思うが、広島は川のまちで、この高校は川のすぐ横にあって、西側にこれだけ魅力的なテラスがあるということなので、この学校の独自性というか、ここで勉強する生徒たちが、自分の学校がどんなところだったかというときに、川のそばにあってテラスが上下行けたというようなところは、ほかのところではなかなか出来ないような気がする。予算の範囲内で、もしも検討していただければ、例えば学校が開

放のときに1階から2階を大きな階段、これなかなかいい。

あと、テラスの茶色いフロア、ウッドデッキにすると、かなり感じのいいテラスである。普通の学校にはなかなかないようなものである。

○清田委員

北側のほうと南側のほうが雁行している状態、平行状態ではなくて、北側のほうが河原に出っ張っている分だけ、うまくデザインすると、この北側の建物が建物の中に風を呼び込んでくれるような気がする。雁行することによって、階段・ウッドデッキを駆け上がった空気が、北側の建物に当たって、そこのテラスから建物の中に取り入れられるようなイメージができると、非常にきれいな景観もとれて、風も入ってくると思う。

○岡河座長

基本的には、南から風が来て、それが北側の壁に当たって建物内へ入るようになる。

○清田委員

東に向かって空気が入るようになって、この真ん中にある吹き抜けのところをうまく利用してやると、北側は、川側に寄っているから、建物真ん中の吹き抜けのところから全部風が抜けて行く。入ってきた空気が真ん中の職員室の右側の空間のところに、いかに空気が流れ込むかによる。冬場は、閉めてしまえば大丈夫だし、夏場は天窗でも開けてあげるとうまく逃げると、もしかしたら冷房もしなくてもいい空間になるかもしれない。雁行していることは非常にいいこと。

○岡河座長

風の通入も含めて、その建物では重要なことである。今、西側の面は、オレンジ色が強調されているようなデザインになっているが、この辺は具体的には、どういうふうな感じのお考えなのか。RCのプレキャスト、フレームは、ほぼコンクリートであるが、それ以外の面になるのか。

○橋本営繕課課長補佐

妻面の色のついているところは、タイルである。模型が違う感じがするが、これから検討してからということである。

○岡河座長

例えば、普通、これを見たときに、西側のテラスのところの壁面に、うまく色を使って、今の大きいオレンジのところは、コンクリートということでも、強調するところに、少し色を上手に使うということもあるのかというふうに少し思った。今、現場打ちに比べると、

コンクリートとかプレキャストだって相当きれいなコンクリートである。恐らく意匠的にも、決して、いわゆる汚いコンクリートではないようなイメージがある。タイルを使うなら、先ほどのテラスのところの水平が3段、4段になるが、そこにうまく使っても、ひょっとしたらデザインがいいのかなと思う。その色を変えてもきれいだ。1階と2階と3階、1つずつ変えても少しきれいな。

○柏尾委員

カラーを変えていくことは旬なやり方になるし、こういうデザインにふさわしいか、どこを象徴的に見せたいか、相当強い色を入れていくのか。

○岡河座長

全体予算も当然あるが、建物の印象をどこで強調するかということは、まだ幾つか検討する余地がある。

○西村委員

周りはマンションとか何とかがあるので、むしろとっぴな色よりも周りに調和した色のほうがいいかなと思う。私は、むしろ川のテラスのほうを売りに出して、建物の奇抜さとか何とかよりもそっち側のほうを売りに出して、周りのマンションが多かったことだし、それから見れば、とっぴな色よりも落ちついた色のほうがいいと思う。

○岡河座長

柏尾委員。川があって、水があって、その向こうに緑があって、その奥に建物がある。色としては、どんな感じの色がよいか。アドバイスはあるか。

○柏尾委員

学校はこれだけの建物になるので、どんな色でもいいということでは商業施設になっていく。基本的には、アースカラー。ベージュなど、自然の中からピックアップしたもので、ウォーターサイドのほうで有彩色、とっぴな色ということではなくて動きを持った色を使って、こっち側の南北面は、無彩色系でエンドエンドを締める。正門側とリバーサイド。

○岡河座長

正門のところと川に向いている場所からの段になっている水平に割といい色があれば、ほかのところは、プレキャストできれいなので、かなり立派なところがいい感じの色があるというのは、決して悪いデザインではないという気がする。ぜひ、可能であれば検討されていかれたらと思う。

○西村委員

ウッドデッキは、経年劣化というか、もの凄く色褪せてくるのが早い。したがって周りの塗装の色もそれを考えてやられたほうが良いと思う。作ってからものの3年もしたら、もう色が褪せてくる。

○岡河座長

ウッドデッキは耐久性のあるものか、どんな色なのか、これから値段によるというか、全体のコンセプトとかあるが、まだ確定はしていないのか。

○橋本営繕課課長補佐

どういったものを使うかによって変わってくる。

○岡河座長

色のバランスを考えれば、値段と耐久性の関係で決められると思うが、まだこれから可能性としては、検討課題のような気がする。

○岩重委員

学校の周辺の木とかパブリックアートとかストリートファニチャー部分のコンセプトでお考えがあれば聞かせていただきたい。

○橋本営繕課課長補佐

ファニチャー的なものは特に考えてないが、境界のところにどうしても塀のようなものを設置するので、その辺で休まれるスペースを作るとかを考えている。植栽はフェンスの周りに設置する程度で、そこまでファニチャー的なものは特に考えていない。

○岩重委員

わざわざベンチということではなくて、たまたま座れるというようなことか。

○岡河座長

フェンスの横に植栽ということになると、フェンスだけでなく、例えば、フェンスに絡みつくような植物ということもあるが、メンテナンスの問題は、考えているのか。

○橋本営繕課課長補佐

まだ、そこまで届いていない。

○岡河座長

学校の運営の方とも考えていくことになるのか。

○橋本営繕課課長補佐

そうである。学校としては、なるべくメンテナンスが要らないものになってくると思う。

○清田委員

ブラインド（死角）をつくらないことが普通になっているので、仕方ない。緑が多いがブラインドという訳にはなかなかいかなくて、子供たちの安全性を考えて、誰でも見える場所を、特に職員室から見えるということが言われているので、緑はいたし方ない。

○伏見委員

既存で結構大きな木があると思うが、その木は残して計画されるのか。ぐるっと歩道を提供するよりも、どこかに大きい広場を提供したほうが効果的じゃないか。そんなに人通りがないところなので、予算オーバーなら今の外構の緑を残して、どこか1カ所にお金をかけるのもいいのではないか。

○橋本営繕課課長補佐

外構対象を含め、考えてみる。

○岡河座長

第1回目で、まだ予算の攻防の最中なので、まだ不確定な要素もなかなかある。

○西村委員

屋外の運動場の周りにフェンスを張ることについて、一番怖いのは餅屋という食料品店の辺に砂が飛ばないかということ。周りを歩いてみたときに気が付いたことである。

○橋本営繕課課長補佐

その辺を含めて、植樹を考えていかななくてはいけないと思う。フェンスでやるということじゃなくて、植樹等でそういった対策等ができるのではないかと考えている。

○岡河座長

防球フェンスと建物のデザインが一体化できるような工夫がもし可能なら。割と学校を建ててみると防球フェンスが情けなく立っている。どれぐらいの球が飛んでくるか、もう少し安くて、余り目立たないようなものになるとか、メンテナンスのこともあるし、長持ちとかいろいろあると思うが、検討課題として、お考えいただければと思う。

それでは、第1回目なので、本日委員の方からあった御意見を参考に、また御検討いただければと思う。

それでは、議事の2、広島平和記念公園ほか1箇所バス停上屋整備事業。第3回目であるが、御報告をお願いします。

○紙田中区役所地域整備課課長

（議事2「広島平和記念公園ほか1箇所バス停上屋整備事業」3回目の説明）

○岡河座長

この写真を見る限りでは、大変すっきりした、よいバス停ができるのではないかと
感じがしている。

柱と足元の舗装について、舗装と柱の関係、要するにアンカーを使うと、モルタルで柱の周りがふさがれて、その一番上は舗装と同じ形でおさめているのか。柱が地面に付くところの、舗装面に接するところの足元の処理である。それぞれの場所の舗装の仕上げと同じ仕上げか。

○紙田中区役所地域整備課課長

そうである。この写真で見ていただく感じで、石の舗装がそのまま引っ付く。

○柏尾委員

上屋天井面の色彩について、皆さんの御意見をお聞きしたい。前回の会議で、真っ白よりもちょっと明度を落とそうといったことで、今回、明度9のもので提案されているが、この資料のパスと配布いただいているもののカラーが異なっているのでは。

○紙田中区役所地域整備課課長

色はN9である。写真だけだと暗く感じてしまうので、今日もう一度行って撮ってみたが、これと変わらなかったなので、申し訳ない。

○柏尾委員

私もこの9.0を既存のバス停で、撮りに行った。通常だと気付きにくいですが、地面からの照り返しが少し強い。明度の高い色ほど天井からの照り返しも強くなる。熱線も紫外線も両方とも。右のあとワンランク、1ポイント、今、N9になっていると思うが、N8ぐらいまで落とすと、何とかいいかなと思う。

ただ、N8にすると、グレー感が強くなってしまうので、白という印象ではない。N8まで明度を落とす場合には、少しでも色味を持たせてあげたほうが明るく感じると思う。

もともとのこのバス停の金属色が、クスノキブラウンである。ダークブラウンと、このベージュ系の相性も非常にいい。歩道色も、基本的にはベージュ系であるから、全体的に色管理されると思う。

全くの無彩色というのが、なかなか風景上見つかりにくい現実というものもあるので、少しこういう色味を持たせたほうが、うまくバス停としてまとまると思う。ただ、ポイントは、ワンポイント明度を落とすということで、落とすのであれば、無彩色ではなくて少し色見を足せるということで。2つぐらい候補を選んでいるが、これぐらいのものでどうか。

○紙田中区役所地域整備課課長

8. 5じゃなくて、この8番か。これからメーカーさんを含めて、検討してみたい。

○岡河座長

落とす加減については、1ぐらい落とすが、メーカーと相談されて、決められれば。照り返しで真っ白になるということで、少し落とすというのがこういう軒裏なので。

○清田委員

真下に立っている空間なので、道路のアスファルトの近くで照り返しがあると思う。

○岡河座長

照り返しだけでも暑苦しいから、やわらぐかもしれない。

○柏尾委員

軒裏について、女性がさしている日傘、重要なポイントは日傘の外側じゃなく内側である。内側が黒であることが大事である。照り返しの光を受けたのと同時に光と紫外線をうまく吸収してくれる、それと同じようなことである。

○岩重委員

色を足すことで、ちょっとやわらかくなる。9だと真っ白に見える。

○紙田中区役所地域整備課課長

もう少しやわらかさを持たせるイメージとして、検討させていただきたい。

○岡河座長

全体として、恐らく大変バランスのいいものであり、期待している。先ほどの、軒裏の明度のことだけということで、大丈夫だと思う。

それでは、今日予定していた議事の2つについて審議を終わり、事務局へお渡しする。

○萬ヶ原都市デザイン担当課長

今日の議事2について、報告ということで提出させていただいた。もう工期等も少ないので、今いただいた2つの提案、これについて再度、中区地域整備課のほうで予算等々協議をし、最終的には委員長一任ということで、現場の工事に入らせていただこうと思う。

○岡河座長

明度を落としてということになれば、そんなに大きな問題はないと思うので、私が確実にチェックさせていただく。

○萬ヶ原都市デザイン担当課長

営繕課と中区地域整備課には、本日いただいた御意見を参考に、今後の事業を進めていただきたいと思います。

◆原爆ドーム前（下り線）【南側】
[歩道方向より]

現況



最終案

